

科目名		授業形態	担当教員名	
運動療法学Ⅱ		講義・実習	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
運動における循環・代謝系の反応を復習し、循環・代謝系の障害と、その理学療法について理解することを目的とする。各論として、評価、運動処方、内部障害リハビリテーションの代表的なものについて講義を行い、心臓リハビリテーション、代謝疾患のリハビリテーション（糖尿病）、腎機能障害のリハビリテーションについての理解を深めていきたいと考える。				
授業の到達目標				
1. 循環・代謝系の生理的反応を理解できる 2. 循環・代謝系の代表的な疾患と障害を理解できる 3. 循環・代謝系障害の評価と運動処方について理解できる 4. 代表的疾患として虚血性心疾患、心不全、糖尿病、慢性腎臓病と人工透析の包括的リハビリテーション、理学療法について理解できる				
授業計画				
回	内容			
1	内部障害総論・主要徴候			
2	内部障害の運動処方			
3	運動処方・運動負荷試験			
4	各種検査・心電図			
5	心臓リハビリテーション①虚血性心疾患			
6	心臓リハビリテーション②急性心筋梗塞の理学療法 急性期			
7	心臓リハビリテーション③急性心筋梗塞の理学療法 回復期			
8	心臓リハビリテーション④急性心筋梗塞の理学療法 維持期			
9	心臓リハビリテーション⑤心不全の理学療法			
10	代謝疾患のリハビリテーション①糖尿病			
11	代謝疾患のリハビリテーション②糖尿病の理学療法			
12	代謝疾患のリハビリテーション③糖尿病の理学療法			
13	腎機能障害のリハビリテーション①慢性腎臓病 疾患と理学療法			
14	腎機能障害のリハビリテーション②慢性腎臓病 人工透析の理学療法			
15	リスク管理 まとめと解説			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	筆記試験		
レポート				
小テスト		適宜実施し、総合評価に加味する。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
シンプル理学療法学シリーズ 内部障害理学療法学テキスト	細田多穂 監修		南江堂	
改訂第3版				
自由記載	単元ごとの講義用プリント（配布）に沿って講義を行う。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載	1年生で使用した解剖学生理学の教科書や資料等を参考にしながら講義を受けること。			
備考				